

2011年

1月

10日 総合公園体育館で「野田市成人式」

市が公募した41人の新成人による実行委員会が式典を進行、最後に力強く新成人の決意が述べられました。

30日 文化会館で「NHKのど自慢」全国に生放送

市制施行60周年を記念して、市とNHKの共催で「NHKのど自慢」が生放送されました。前日の予選会には市内外から250組が参加しました。

30日 関宿城マラソン大会で963人が力走

関宿城博物館周辺河川敷特設コースで開催。15クラス963人が力走しました。

2月

26日 街頭防火キャンペーン

火災予防を呼びかける街頭広報を市内のショッピングセンターで開催。消防音楽隊の演奏や消防グッズの無料配布などを通して、防火啓発活動を実施しました。

3月

8日 川間駅のバリアフリー施設を供用開始

川間駅に3基のエレベーターと多機能トイレ、スロープを設置。車椅子やベビーカーでも安心して利用できるようになりました。

11日 東日本大震災の発生で「災害対策本部」を設置

14時46分に国内観測史上最大のマグニチュード9.0を記録した「東北地方太平洋沖地震」は東北、関東地方に未曾有の大被害をもたらしました。野田市でも震度5強を記録し、屋根瓦の落下やブロック塀の倒壊、堤防・道路・公共施設の損傷など、大きな被害を受けました。

4月

1日 春風館道場に「弓道場」開設

柔道や剣道の愛好家に広く利用されている春風館道場敷地内に弓道場を開設。3人立ちでのめまで28メートル、夜間照明も整備しました。

1日 3か所の学童保育所を開設

過密化を解消し保育環境の改善に向け、宮崎第二・みずき第二・南部第三の3か所の学童保育所を開設しました。

1日 まめバス新ルートで運行開始

“市民の足”として定着しているまめバス。利用者の減少に伴って運行ルートを見直し、病院やスーパーなどを経由する新ルートでの運行を開始しました。

6日 被災者の実態や要望を把握「市民課特設窓口」開設

被災者支援を目的とした「市民課特設窓口」を市役所2階に設置。また、就労の問題に対応する「求職者総合支援センター」を開設、特設窓口との連携を可能にしました。

5月

8日 スポーツ公園芝生広場で水防演習

市内消防団536人が参加し、洪水や台風による水害に備えた水防演習が木野崎の利根川河川敷で行われました。台風で堤防決壊の恐れが生じたという設定で、土のう作りや、竹で堤防の亀裂拡大を防ぐ「五徳縫い工法」など、さまざまな工法が実演されました。

6月

15日 電力不足に対応する「節電対策市民連絡会設置」

大規模停電を避けるため、7月から9月までの消費電力の削減に向け、自治会や婦人団体、商工業団体の代表者、企業などからなる「節電対策市民連絡会」を設置。全市を挙げて節電に取り組みました。

17日 空間放射線量に対し、市独自の基準値を設定

